

# 村落を巡りて

## 九州の那築方面

○組合は其組合だ

可憐い顔をして人に立て、しかも小作料を支拂はねばならぬ。熊本縣八代郡那築村の地主なる地主に對する小作人の要求が少しも満足しないのは、一體何ういふ事か。

何か小作人の要求に障害になるものがありはしないか。去年の夏頃から此の村で展開した事實を少し許り紹介したら、其の理由も自明に解けて来て、此後小作人組合を作らうとする人達の懐山の石ともなることだと思ふ。

此の村でも去年の四月頃から、隣の日本農民組合といふものが出て来た。だが、一體此の日本農民組合と云ふのは何んな組合か。先月、熊本縣川町町の或る劇場の會式で聞いた、九州農民學校長と云ふ位い利巧の付いた日本農民組合の代表者たる「田舎」といふ奴の演説の一言を何に引けば、其の真意が判つてきやと分るのだ。彼の言ふことが中々面白い。

「日本農民組合は合資会社の下に成るべき組合であります。現在、組合の組織が「ヤマト」を以て成るべきか、それとも「ヤマト」を以て成るべきか、それは、

「ヤマト」を以て成るべきか、それとも「ヤマト」を以て成るべきか、それは、

の境に置かれて居る。地主がほんとは人間らしく食ひ、人間らしく着、人間らしく住み居るには、先づ第一に此の地上から地主と云ふ奴を全部追つ拂つてしまはねばならぬと云ふことは、最早はが腹はく

なるほど言ひふらされてゐる實左の、賣木家や地主の奴等に頼み出された法律が公認して居る様な組合が、地主の組合であつてたま

るものが、地主は今、眞實に人間らしい生活を送る度い爲に、地主を廢げつゝある地主の奴等と命掛

けの喧嘩をしてゐるのだといふことを常に忘れてはならぬ。そして小作人組合は、地主の奴等を叩き潰すのに備へて取つては、唯一の武器だと云ふことを忘れてはならぬ。その武器が彼奴等に何等の恐怖を與へないものであつて何うするんだ。

要するに日本農民組合と云ふものは、小作人を積み重ねて甘い味を占めやうとする彼奴等の巧妙なる方便に過ぎぬ。地主が現在の歴史制を地主から眞實に解放されて眞實に人間らしい生活を送るためには、先づ是等の私腹を肥さんとす

合と云ふ農民組合の中には、商業其の儘の種を種付け子金共が配分ある。中でも有名なのは日本農民組合九州支部と云ふ物らしい。其の組合に對しては、先づ此の地上から地主と云ふ奴を全部追つ拂つてしまはねばならぬと云ふことは、最早はが腹はく

なるほど言ひふらされてゐる實左の、賣木家や地主の奴等に頼み出された法律が公認して居る様な組合が、地主の組合であつてたま

るものが、地主は今、眞實に人間らしい生活を送る度い爲に、地主を廢げつゝある地主の奴等と命掛

けの喧嘩をしてゐるのだといふことを常に忘れてはならぬ。そして小作人組合は、地主の奴等を叩き潰すのに備へて取つては、唯一の武器だと云ふことを忘れてはならぬ。その武器が彼奴等に何等の恐怖を與へないものであつて何うするんだ。

要するに日本農民組合と云ふものは、小作人を積み重ねて甘い味を占めやうとする彼奴等の巧妙なる方便に過ぎぬ。地主が現在の歴史制を地主から眞實に解放されて眞實に人間らしい生活を送るためには、先づ是等の私腹を肥さんとす

「何んと言つても」は、先づ都會労働者が指導せねばならぬ。農民は無知で、迷信深く、頑道で、そして地主共に指導されてゐるから」と、或人は曰ふ。

しかし、農民が無知だと云ふ事は、それを侮蔑し簡過する理由になるだらうか。資本家階級の奴共や、それに使はれてゐるいろんな學者共は、此の「教育が授けられてゐる」といふ事に基ついて、其の支配の権利と労働者の服従の義務を主張する。けれども労働者の資本

さする爲に地主小作人を利用しやうとする奴の如き憎むべき小作プロキョーは、そんな上其等はまだいくらもゐる様だ。人事もやない。地主自身が現在の不合理なる制度から解放されて自由な奴となる爲には、言葉な地主階級を叩き潰すと同時に、先づこの憎むべき小作プロキョーから根絶せしめてはねばならぬ。

「組合は其組合だ」  
是も九州での話であるが、福岡縣二日市にも右の日本農民組合と云ふのが出来てゐて、その組合長に中村某と云ふ男が居るが、其奴の云ふことがまた中々ふるつてゐる。「此の村では日本農民組合が御出になりましてから皆な紳士になりきつて居ますので、他州の人の話などは餘り喜んで聞く者はありません」と云ふのだ。

「何んと言つても」は、先づ都會労働者が指導せねばならぬ。農民は無知で、迷信深く、頑道で、そして地主共に指導されてゐるから」と、或人は曰ふ。

「何んと言つても」は、先づ都會労働者が指導せねばならぬ。農民は無知で、迷信深く、頑道で、そして地主共に指導されてゐるから」と、或人は曰ふ。

しかし、農民が無知だと云ふ事は、それを侮蔑し簡過する理由になるだらうか。資本家階級の奴共や、それに使はれてゐるいろんな學者共は、此の「教育が授けられてゐる」といふ事に基ついて、其の支配の権利と労働者の服従の義務を主張する。けれども労働者の資本

さする爲に地主小作人を利用しやうとする奴の如き憎むべき小作プロキョーは、そんな上其等はまだいくらもゐる様だ。人事もやない。地主自身が現在の不合理なる制度から解放されて自由な奴となる爲には、言葉な地主階級を叩き潰すと同時に、先づこの憎むべき小作プロキョーから根絶せしめてはねばならぬ。

「組合は其組合だ」  
是も九州での話であるが、福岡縣二日市にも右の日本農民組合と云ふのが出来てゐて、その組合長に中村某と云ふ男が居るが、其奴の云ふことがまた中々ふるつてゐる。「此の村では日本農民組合が御出になりましてから皆な紳士になりきつて居ますので、他州の人の話などは餘り喜んで聞く者はありません」と云ふのだ。

「何んと言つても」は、先づ都會労働者が指導せねばならぬ。農民は無知で、迷信深く、頑道で、そして地主共に指導されてゐるから」と、或人は曰ふ。

### 無知、迷信

「何んと言つても」は、先づ都會労働者が指導せねばならぬ。農民は無知で、迷信深く、頑道で、そして地主共に指導されてゐるから」と、或人は曰ふ。